

看護部周術期管理チーム

院内周術期管理チームと連携し、周術期医療の質の向上を目指しています。
 周術期管理チームは、侵襲度の高い手術や呼吸機能が低下している患者などを対象にしています。外来で手術が決定した時から手術後の回復に向けて患者とともに歩みを始めます。患者や家族と医療者が協働することで合併症を予防し「生きる」、楽しく生きるには欠かせない「食べる」、そして慣れ親しんだ我が家で自分らしく暮らすことができるように「帰る」について、ともに取り組み「よりよく生きる」ことにむかって病期・病態・場所を問わず集学的医療を実践するチームです。

活動目標

- ・ 周術期チーム介入の流れや患者を把握し自部署での介入ができる
- ・ 周術期カンファレンスに参加し患者の問題提起や情報提供を行う
- ・ 周術期カンファレンスで検討した内容や目標、方針を自部署で共有する
- ・ 術後合併症を予防し異常の早期発見に努め、術後の身体変化に合わせた退院支援ができる

活動内容

- ・ 各種パンフレットの見直し
- ・ ニュースレターの発行
- ・ 周術期カンファレンスに参加し多職種連携を図る

チームメンバー

- ・ 手術看護認定看護師
- ・ 周術期管理チーム看護師
- ・ 関連病棟リンクナース

手術を受けられる患者さまへ

当院では侵襲度の高い手術を受けられる方や、合併症がある方、高齢者などの患者さんとご家族を対象に、『周術期管理チーム』（術前から術後まで様々な診療科や専門チームが連携して関わるチーム）が、不安を軽減し安全に手術を乗り越え、順調に回復できるように支援させていただきます。

手術前から自身でできるケアを共に行いましょう。
 何の病気でどんな手術を受けられますか？
 手術後の状態のイメージがわかりますか？

手術後は様々なチューブが繋がっています。一晩はベッド上で安静にします。歩けるようになるまで足首・足指を動かしましょう。

重要 傷の痛みなどの症状は我慢せずに教えてください。痛みを我慢すると、呼吸・循環などに影響を与え、回復が遅れたり、不眠や精神的苦痛にもつながります。また、術後に意識が混乱して、幻覚や妄想を抱いてしまう『術後せん妄』を起こす場合があります。一時的なものです。不安を軽減し安全に過ごせるようにサポートします。

手術を受けるまでの準備

1. 食事 手術前よりバランスの良い食事を摂取して体力をつけましょう。

手術前後の栄養管理により、手術後の回復を早めることができます。血液検査や体成分分析検査で栄養状態を確認します。また、便通を整えることも大切です。

必要に応じて**管理栄養士**が栄養指導を行います。

2. 運動 日常生活の中に軽い運動を取り入れましょう。

・座ったまま、寝たままの足上げ、膝上げ、肩回しなどを行う
 ・転倒しない程度に歩く
 ・できればラジオ体操を1日1回

入院後は**理学療法士**がリハビリを行います。リハビリの時間を大切にしてください。

3. 口腔ケア 手術後の肺炎予防や早期の食事再開につながります。

・歯みがき・舌みがき 1日4回（朝・昼・夕・寝る前）
 ・舌みがきは、やわらかい歯ブラシで奥から舌先へ行います
 ・舌みがきで吐き気を催す方は液体歯みがき（低刺激性）を使用します
 ・入れ歯の方は寝る前に外して入れ歯洗浄剤につけましょう

個別的に、**口腔外科**で診療と口腔ケア指導を行います。

4. 呼吸リハビリ 手術後の呼吸器合併症を予防します。

手術後は、傷口の痛みで深い呼吸となり、痰が排出にくくなります。肺炎や無気肺（酸素が入りにくい状態）などの手術後の呼吸器合併症の予防のため、自宅でも呼吸リハビリを行います。

・痰をしっかりと出すために**咳払いの練習**
 傷口に手を置いて深呼吸を3回→深く息を吸い込み『ゴホーン』と咳をします。

・**腹式深呼吸**
 お腹に手を置き、息を吸ったときにお腹の膨らみを感じられるようにゆっくり吸いましょう。
 1回あたり3～5分程度を1日数回行いましょう。

鼻から息を吸う → お腹を膨らませます → 口から息を吐く → お腹をへこませます

2017年5月 作成